

吹上地域包括支援センター 担当

✚ 日 時： 令和8年5月19日（火）午後1時30分～1時45分

✚ 会 場： 栃木市役所

✚ 事 例 数： 1 ケース（令和7年11月18日に検討した事例の振り返り）

✚ 参加者数： 13 名

事例提供者 1 名、助言者 7 名、包括職員 2 名

傍聴者 3 名

脳梗塞後遺症による右半身麻痺、構音障害があり、口腔機能低下がみられる 75 歳男性

〈目標〉1 日:毎日体を動かす。(デイサービスでのリハビリ、自宅での歩行訓練など)

1 年:右手の動きを改善したい。

移動動作など全体的な体の動きを維持したい。

利用サービス：介護予防訪問看護、通所型サービス

《前回会議での支援策》

支援方針

- ・脳梗塞の再発予防として、治療の継続及び脱水が予防できるよう支援する。
- ・日常生活での具体的な目標を設定し、リハビリに取り組めるよう支援する。
- ・口腔機能検査の結果が数値以下であれば、歯科医師への相談を勧める。誤嚥性肺炎、口腔機能低下予防の口腔ケアが行えるよう支援する。

助言内容

- ① 日常生活での具体的な目標を設定し、リハビリに取り組む。
- ② 脳梗塞再発予防として、治療の継続と脱水を予防する。
- ③ 口腔機能検査結果をよく確認し、数値以下であれば歯科医師に相談し、リハビリをすすめる。
- ④ 毎食後の歯磨きや健口体操を行い、口腔機能低下、誤嚥性肺炎を予防する。
- ⑤ トロミ剤の使用など、言語聴覚士に嚥下食について相談する。
- ⑥ 話しをすることで自信や生活意欲につながるよう、傾聴ボランティアを利用する。

《支援結果・状況》

- ① 達成：具体的な目標を設定しリハビリを行い、患側上下肢の動きがスムーズになってきている。
- ② 達成：治療を継続し、水分摂取を心がけ、脳梗塞は再発していない。
- ③ 達成：言語聴覚士による口腔機能検査を行い、嚥下機能訓練等を実施している。
- ④ 達成：言語聴覚士からの指導内容を毎日実践し、口腔ケアに取り組んでいる。
- ⑤ 未達成：嚥下食の相談はしていないが、食材の大きさや固さを工夫している。
- ⑥ 達成：傾聴ボランティアは利用していないが、自身の経験を発信することが生きがいになってきている。